

あいめーる

SUMMER

愛隣館通信

平成30年8月15日発行 〒861-0551

発行

熊本県山鹿市津留2022

社会福祉法人 愛隣園

TEL 0968-43-2771

障害者支援施設 愛隣館

FAX 0968-43-2793

発行責任者 三浦貴子

http://ailcas.com

編集 広報チーム

E-mail

キャリアピジョン

ailinkan@magma.jp



愛隣荘にて、灯笼保存会の皆さんと記念撮影

山鹿灯笼保存会ボランティア訪問

五月二十六日(土)、軽費老人ホーム愛隣荘に山鹿灯笼保存会の皆さん(踊り手六名、地方(ぢかた)…三味線三名、笛一名、太鼓一名、唄い手五名)のボランティア訪問がありました。

愛隣荘食堂ホールには、山鹿灯笼踊りを間近で見ようと、愛隣荘入居の方々やご家族、愛隣の家、愛隣館、ぴあハウス等の入居者や利用者が大勢集まりました。

はじめに、浴衣姿の踊り手さんが、金灯笼を頭にのせて「よへほ節(フオーク式)」、「山鹿灯笼盆踊り」、「米原長者口説き歌(よなばるちようじやくききつた)」を唄い手の名調子にのせ優雅に踊られました。

次に、地方の皆さんよりの「民謡おてもやん」や懐メロカラオケ三曲の唄の披露があり、昔を懐かしみ口ずさむ方も多く見られました。

終わりに、「よへほ節(上下組踊り)」が披露され、幻想的に揺れる金灯笼の灯かすと優美な舞を皆さん堪能しておられました。

最後に、参加者の方々と踊り手さんとの写真撮影があり、思いおもいに写真を撮られ、交流を楽しんでおられました。

愛隣館入居者の後藤さんは「金と銀の金灯笼や踊りを間近で見ることができ、こんな嬉しいことはありません」と、感想を話していました。



ひとりひとりの歴史



館長 三浦貴子

西日本豪雨で被災された地域の皆様へ、心よりお見舞いを申し上げます。想像を絶する広範囲の災害でした。胸ふさがる想いでニュースにかじりつきました。普段、気候穏やかな岡山県、広島県、愛媛県なのにと思いました。酷暑の中での片づけも、本当に苦しい日々が続きますね。どうか、一歩ずつ復旧して行かれることを祈るばかりです。

当館では、この春、長い年月を共に過ごした利用者の方々が、生命を燃やし尽すかのように、続けてお亡くなりになりました。ご家族から届いたお便りに、「母が入所した時、私は中学生でした。職員の方々が自分の名前を呼んで可愛がってくれるのが嬉しく、施設への不安が消えました」と、ありました。それから二十九年、遠くでしっかりと家庭を築いておられます。「愛隣館に電話して、母と話す楽しみが無くなって淋しい、長い間ありがとっこございました」とのお言葉を職員みんなで共有しました。

また、「妹が生きがい。最高の相談相手でした」と、親族代表で「あいさつをされたお姉さん。」「自分が終わったら姉に渡して」と、職員が手紙をこつこつかいていました。その手紙を、葬儀の参列者に紹介されたお姉さんは、重い障害のある妹さんの生き様を誇りに思い、その気高い精神を伝えられました。これまでで相当な数で頂いた、お母様方をはじめと

するご家族からの手紙。想いの深さに打たれ、心に刻みこまれています。その伝えられた想いを、つないでいく責任を少しずつでも果たしたいと思えます。そして、日常利用者の方々の近くで職員が聴きとった言葉を「ご家族にお伝えすることも、私達の役割です。」

最後になりますが、ひとりのひとりの想い、家族の歴史、この夏災害で突然断たれてしまった二五名を超える方々、ご遺族、関係者の無念を思い、ご冥福を祈ります。

JA鹿本スイカ贈呈式

五月十六日(火)、JA鹿本園芸果樹部よりスイカを贈呈していただきました。

贈呈式は、軽費老人ホーム愛隣荘で行われ、愛隣館から入居自治会長の水田勝利さんが参加し、丹精込めて作られたスイカを代表で受け取りました。

最後に、三浦はるみ愛隣荘施設長が、お礼の言葉を述べられました。

今年も、天候にも恵まれ、甘み水分ともに申し分なく美味しいスイカが出来上がったそうです。

早速、入居及びデイケア、愛隣倶楽部で昼食のテ



ザートに、美味しくいただきました。

新しい仲間



入所者 柳田 繁

四月二十五日、新しく愛隣館に入所した柳田繁です。

館内を色々歩行訓練を兼ねて散歩しリハビリを頑張っています。これから施設の行事やイベントにできるだけ参加し楽しみたいと思います。皆さん、宜しくお願いします。



入所者 村上 浩子

四月五日に入所しました村上浩子です。実は数年前、二十代後半から三十代前半迄、愛隣館に入所していましたが、施設を出て地域で生活したいとの想いが強く、退所し自宅で両親と生活をしていました。昔(学生の頃)は、障害者と遊ぶと罹るなどの偏見があり辛い思いもたくさんしてきました。

現在は、スマホ、ラインそして、携帯電話で自分の意思を伝えることができます。障害者にとっても随分「生きやすい」世の中になってきたのかなと思います。

これからの人生を愛隣館で過ごすことになりましたが、施設であっても自分らしさを失わず、体調に

合わせ日中活動や館内外の行事に参加し楽しんでいます。

皆さん、宜しくお願い致します。



入所者 永井 英治

六月十八日、愛隣館に入所した永井英治です。

入所前はデイケアを利用していたので、顔見知りの入居者やスタッフも多く、あまり戸惑うことなく安心して生活しています。

自宅で暮らしていた時は自由気ままだったので、入所して規則的な生活をする事ができ良かった！と、思います。

今後、日中活動や季節の行事等に参加し楽しみながら、他の入居者の人たちと、のんびりと穏やかに暮らしたいと思えます。

皆さん、よろしくお願ひします。

新人職員紹介



保育士 新居 礼美

四月に入職しました新居礼美(あらうれみ)と申します。現在、愛隣倶楽部にて支援員をしています。勤め始めて、利用者の方や職員の方との会話や活動

等の一つひとつに充実感のある日々を過ごしています。

未熟者ではありますが、一日でも早く利用者の方のお力になりたいと思っています。その為にも、これから多くの事を利用者の方・職員の方から学び、利用者お一人おひとりに対して、より良い介護、支援の提供に努めてまいりたいと思っております。

「迷惑をおかけすることが多いと思いますが、今後ともよろしくお願ひ致します。

ぴあハウス「春の地域交流会」

ぴあハウス管理人

古川 慎市朗

まずもって、本年度のぴあハウス創立記念会を皆様のご協力のもと、五月二十四日(木曜日)に三十六名の参加者を迎え、無事、開催することが出来たことをご報告致します。

会の名称も新たに「春の地域交流会」と銘打ち、今までの区長様を始めとする来賓の方々に加え、三岳地区消防団の手島秀隆分団長にも参加して頂き、「サブ



ライス・サンクス」などの催しを経て、最後まで笑顔絶えぬ時を過ごせました。

今後、福祉を取り巻く環境(制度等)の変化に準じ、ぴあハウスの地域での在り方を考えつつも、時代が変わるとも色あせぬ、人と人の繋がりをより深めていける場所であるように努めていきたいと思ひます。

親善オセロ大会

愛隣倶楽部支援員

中野 大漬

今回、私は六月七日(木)、合志市総合センターヴィーブル総合体育館メインアリーナで行われた親善オセロ大会に参加させて頂きました。

各部署でメンバーを決め、愛隣館代表として本館三名、デイケア一名、倶楽部一名の計五名とスタッフ五名で参加しました。

団体戦五人一組で制限時間十五分のルールがあり、普段とは違う環境やルールの中で利用者の方々の表情からは緊張も感じられましたが、皆さん活き活きとオセロに打ち込まれていて笑顔もあり楽しそうな姿



がとても印象的でした。
結果は惜しくも三位という結果でした。悔しさもありましたが皆さん楽しかったと喜ばれていて、参加して良かったです。

第17回くまもと障がい者スポーツ大会

ケア課 原 てるみ

五月二十日(日)の晴れ渡った空の下、えがお健康スタジアムで開催された障がい者スポーツ大会に、今年も愛隣館から三十一名が参加しました。

開会式では、山鹿市の旗をしっかりと持ち凛とした面持ちの田中正人さんを見て大会への意気込みを感じました。

スタンドから、フィールド内で競技をしている愛隣館の選手を見つけると「がんばれー」と応援の嵐。



シャベリックスローに参加された選手の方で、「向い風にやられて、日頃出していた記録より悪かった」と、悔しそつに苦笑いされていたのが忘れられません。

選手の方々、今年のスポーツ大会でそれぞれに思

い出が出来た爽やかな一日だったと思います。

七夕のタベ

七月に入ると、天井に届きそうな七夕飾りの笹が、愛隣館食堂に立てられます。

笹には、入居者や職員が思いおもいに願い事を書いた短冊が飾り付けられ、とても華やかです。

七月七日(土)は、七夕のタベのイベントとしてバーベキューを昼食にいただきました。入居者の皆さんは、職員が手際良く焼いてくれた、お肉や海鮮、焼きそば、おにぎり等を、テーブルを囲み美味しく召し上がっていました。



親善風船バレーボール大会

ケア課 池松 知京(ちひろ)

五月十七日(木)に行われました、親善風船バレーボール大会に参加してきました。メンバーは、入居者の方が、河津さん、西部さん、鶴崎さん、手島さん、永田末子さんの五名で、職員が、竹下、浦部、

田中美香、中田、池松の五名でした。今年は、合志市の「ウィーブル」という所で開催されました。

午前中に予選が行われ、私達も三試合しましたが、全勝で決勝トーナメントへ進みました。昼食をほさみ、午後から決勝トーナメントが行われ、そちらでも勝ち進み、決勝戦まで行きました。

惜しくも接戦で負けてしまい準優勝でした。このような結果でしたが、利用者の方と一緒に楽しみ、他の施設の方々と交流が出来たので良かったです。

法人夏祭りのお知らせ

法人愛隣園夏祭りを開催します。

期日：平成三十年八月二十五日(土)

午後五時半より

場所：特別養護老人ホーム・愛隣の家広場

ご家族の皆様のご参加をお待ちしております。



『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された広報チーム、キャリアピジョンが担っています。